

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

山口市立良城小学校

学校・学年指導体制の充実

子どもの実態や変化に対応し、組織的に適切な支援を行えるような指導体制を整える。

具体的な取組の内容(1)

教育相談担当・養護教諭・補助教員等との連携



毎朝、教育相談担当が子どもたちの登校時の様子を観察し、様子の変化を共有するようにしている。



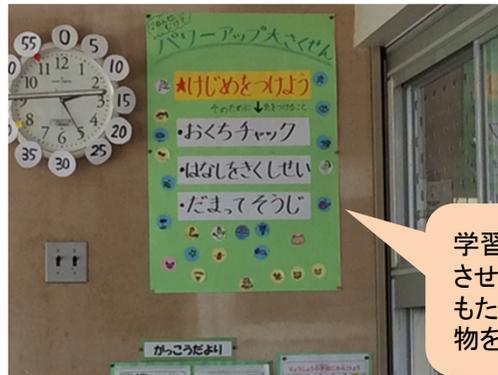
学校・学年で子どもの実態や変化を常に共有し、臨機応変に支援の計画を立てている。

成果

登校しぶりの子どもにいち早く対応し、教育相談部が中心となって子どもの不安感を取り除きながら個別指導を行う等の支援体制を整えた。その結果、登校しぶりは徐々に改善された。現在では元気いっぱい学校生活を送っている。

具体的な取組の内容(2)

指導内容の視覚化と指導形態の工夫



オープンスペースを活用して学習形態を工夫し、準備の効率化と学習形態の共有化を図った。



学習規律など、身に付けさせたい指導項目が子どもたちに届くように、掲示物を工夫している。

成果

指導内容の視覚化と指導形態の工夫に取り組んだことにより、子どもたちは学習規律や学校生活のきまりを身に付け、小学生としてできることが増えていった。